

ひまわり通信

SSKS
No.79



平成二十八年年度

福祉車両を増車します！

理事長

隅 一 清

平成二十八年の正月は、暖冬に恵まれて、初詣での人も汗ばむ程の陽気となりました。

各地で季節はずれの花が開花したとのニュースが報道されていました。世田谷区でひまわりの花が咲いていたとか…。

会では元旦のみ移送サービスが休みで、三十一日も、二日も透析の利用者を送迎してまいりました。今年度は、ご承知の如く、四月から北烏山に出来た障害児童のデイサービス施設「ここから」の送迎を福祉車両二台く三台で学校から施設へ、施設から自宅へ移送して来りました。

事務所から北烏山まで、環七の車の流れが良くても三、四十分かかります。渋滞にはまると一時間位かかるので、学校から施設に移送した後、帰宅時間まで現地で待機する事が多くなります。福祉車両二台が他に使えなくなるので、他の利用者の移送に苦慮しています。

他の移送団体から、借りたり、「ここから」の施設の車両をお借りしたりして、急場をし

のいで来ましたが、昨年秋頃より、リクライニング車椅子での利用者も増えて来りました。

現在会にはリクライニング車椅子に対応出来る福祉車両は三台しかありません。

特に昨今は、高齢の方が増えて車椅子から普通車への乗換えが出来ない利用者も多くなりました。

そこで会としては、会の普通車ファンカーゴを、三月に軽の福祉車両と入れ替える予定でいます。

また八年前に寄贈して頂いた福祉車両シエンタも走行距離が十二万キロを越え



て、故障も、多くなりましたので、今春四月に新しい福祉車両と入れ替える事にしました。購入車両の選択や資金の問題は、三月の理事会で協議して、四月に区に提出する予算に計上する予定にしています。購入車両の二割(上限三〇万)が区から助成されます。

一昨年は利用者の激減で利用料の収入予算を一〇〇万程下方修正しましたが、平成二十七年年度はお陰様で、一〇〇万の上方修正が出来ました。平成二十八年年度は、移送利用料一〇〇万円を目標にして、安全で、利用者に優しい移送事業推進していきたくと考えております。

お陰様で、昨年より、新しいドライバー三名も加わって、強力な助人になって助かっています。基本的に移送ドライバーには基本給を支給していませんので、ハローワーク等でも、受け付けてくれません。平成十八年頃までは、助成金も東京都から支給されて、六〇〇万以上助成されていたので、ドライバーにも高給を支給していました。会では、あくまでも、基本はボランティアで自分が移送した移送料の歩合支給となつていたので、ドライバー希望の問合せがあつても、基本給が無いと返事をするので、一〇〇%応募して来ません。時代の流れと共に、会の行事や運営等に無償で協力してくれる会員も年々少なくなりました。

しかし、自分一人では何も出来ない組織ですから、ぜひご協力して下さる方が出てくることを望んでおります。

何はともあれ、今年も気を引き締めて、自分に厳しく、人に優しい運転を心がけて、移送サービス事業を推進していきましよう。

絵手紙を楽しむ会

昨年の四月に船出いたしました。会の名前は、「ほめん会」ちよつとびつくりするネーミングですが、素直に飛び出した言葉で、いいなと思いました。

昨年の十二月、世田谷区民会館に、皆様の作品を展示することになり、全員で考えて、思いついたのです。

最初、絵は上手に描けない、まして、筆と墨で小さなはがきに書くのはむずかしいとの思いがあったことでしょう。時折、「うぐぐん」むずかしい、うまく描けないなんて、つぶやきながら…。

画材をよく観察し、筆を運ばせ、顔彩で色を付け、仕上げに落款を押せば、器量も上がり、なんと心配もどこ吹く風となり、楽しい、温かな、のびのびとした、個人個人の絵手紙が存在します。教室の中には、晴れた日、雨の日、風が吹く日、楽しいおしゃべりの中、集中心力、笑顔と笑い声に、つつい時間を経つのを忘れます。

近年、新しいものが次々に出て来ます。食材に花、天候の変化、見渡せば、四季の移り変わりに、私達は、小さな、また大きな感動を与えてもらっているのですね。春は、黄色の花々から始まります。

道具はいりません。一日体験から始めましょう。二〇十六年、始まったばかり、一歩踏み出して頂けたら良いかと思えます。

「ほめん会」一同と共に、心よりお待ちしております。

ぬくもりのある、絵手紙教室を心掛けております。

御代川 道子

絵手紙の会に参加したい方へ

- ◎日時 毎月第三水曜日 十三時三〇分
- ◎場所 下馬ポランティアセンター
世田谷区下馬二ノ二〇ノ十四
- ◎交通 三軒茶屋から徒歩七分
東急バス祐天寺経由目黒駅行きで
住宅前下車一分

*送迎希望の方は配車します。

往復で一一〇〇円です。

*必要な道具は会で用意してあります。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

堀之内 千代

登りつつ春日大社の紅葉かな
冬晴やへースメーカー入れ替へて
開けにくき蓋もてあます一葉忌

小松原 錦子

子の墓に桜紅葉の吹きだまる
負けてならしと一本の冬桜
ご自由に取れる高さに夏蜜柑

高橋 民枝

大あくび今日は勤労感謝の日
外からも夫の窓拭く年の暮
その辺をふらふら歩く冬日和

宮沢 みどり

柚子湯して骨の硬さの緩みたる
行列の麻布十番鯛焼屋
山茶花や散るにまかせて散りこぼれ

大谷 のり子

水音の絶え間のなくて冬、木立
せせらぎをBGMに牡丹鍋
立つてゐる人を使つて炬燵かな

小田原 郁代

城下町萩焼の里冬日和代
吊し柿行儀正しく列をなし
源平の左右に別れ歌留多取り

亀井 歌子

冬の旅荒川越えて秩父まで
寒中や消防団の回れ右
あと一つ菓子買ひ足す年用意

竹内 ひな子

杣元に冬忍び込む夜明けかな
落葉して隣家の木々の高さかな
朝刊のにほひも凍る年の暮

行事報告

◎晩秋の秩父路バスの旅

十一月十五日(日)

秋の紅葉の素晴らしい秩父三峰山は、以前は下からケーブルカーで上がって楽しめたのですが、老朽化が進んで、四、五年前に撤去され、今では普通車両での山頂ドライブになっています。

日光、箱根方面ですと、往き帰りの渋滞がひどく、帰宅時間が読めません。

その点、秩父方面はあまり渋滞が無いので、朝野沢を出発して、秩父市内のイタリアレ스토랑で昼食を頂き、武甲山を望みながら、一路三峰方面にドライブ。国道一四五線は、雁坂トンネルを越えて甲府に出られるので走りやすい道です。右、左の紅葉を眺めながら、秩父湖に到着しました。帰路は、道の駅に寄って、正丸峠のトンネルを抜けて、日高市から東京に向かいました。

参加者三十名



◎小田原早川のみかん狩り

十二月五日(土)

今年も早川の鈴木農園から、美味しいみかんが出来たとの連絡を受けて、区民ふれあいフェスタの前日にマイクロバスで出かけました。

好天に恵まれ、風もなく、絶好のみかん狩り日和？でした。枝も折れそうな位、たわわに実ったみかんを、無心で？もぎとりました。昼食は前回と同じ湯河原のニューウエルシティ湯河原でいただきました。参加者二十六名



◎区民ふれあいフェスタ展

十二月六日(日)

今年も障害者週間に合わせて、作品展、講演会、区長表彰式、体験コーナー等様々な催しが開かれました。当会では、いつも通り、バザーを開催しました。作品展の方は、書道、俳句、絵手紙などが展示されて好評でした。お手伝い頂いた皆様、ありがとうございました。



新春新年会

一月十六日(土)

今年も恒例の新年会が柿の木坂の華空間で開かれました。当会が昨年春から移送事業の協力をしている、北鳥山にある、児童デイサービス「ここから」の施設長北川様にもお目見え頂き、十二時から、連協の杉田会長の乾杯の音頭で開宴しました。美味しい食事の後、世田谷在住の響貴永幸さんのステージで、宴を盛り上げて頂きました。参加者二十八名



行事予定

◎三月 梅見のバスハイク

越生梅林散策 三月十三日(日)

何年か前に越生に行った時は、まったく咲いていない状態でした。寒波の年で、例年より一ヶ月遅くなったとか…。今年は十二月の気候が暖かだったので、千葉の方は露地物の花が一月月上旬に満開になっていて、二月、三月には、見るものがないと、地元の人が言っていました。

今年もお昼は、サンピアニュー越生で頂きます。日帰り入浴も可能です。

◎日時 三月十三日(日) 九時発

◎行程 野沢く関越道く高坂SA(休)く越生梅林くサンピアニュー越生

◎会費 一人 七千円(移送料・入浴料別)

*参加ご希望の方は三月五日迄に申込下さい。

◎四月 花を訪ねての旅

あしかがフラワーパーク 四月二十四日(日)

藤の花で有名な、あしかがフラワーパークに行きます。ゴールデンウィークの頃は、紫の藤の他に、白や黄色の藤も咲くのですが、園内はいもを洗う様な混雑です。つつじも見事ですので、春の一日、ゆっくりと楽しみたいと思います。

◎日時 四月二十四日(日) 九時発

◎行程 野沢く川口く東北道く佐野藤岡IC

◎会費 一人八千円(入園・昼食・バス代他)
(移送料は別です)

*参加ご希望の方は四月十日迄に申込下さい。

◎五月 研修旅行一泊二日

ひたち海浜公園

五月十四日(土) 十五日(日)

今年の春の一泊二日の研修旅行は近場でゆつくり過ごす予定で計画しました。ひたち海浜公園は、普通日帰りでも十分楽しめますが、今回は一泊して、大洗近辺も見学します。

海浜公園は三月に水仙フェア、四月はチューリップといずれも今まで会で見学してきましたが、五月のネモフィラは初めての企画です。紫の可愛い花が丘一杯に咲く風景はきつと満足することと思います。

翌日は、海鮮市場やアウトレット大洗等にも寄るつもりです。午前中は大洗水族館でイルカやアシカのショーを見学します。

◎日時 五月十四日(土) 十五日(日)

◎行程 一泊二日

◎会費 二万四千円(宿泊・バス代・入園料・昼食他)

◎行程 野沢く三郷く常磐道く守谷SAく友部ICく北関東道くひたち海浜公園見学く大洗かんぼの宿(泊)大洗水族館見学く那珂湊市場くアウトレット大洗く野沢

*チャリティー協会の割引を使用します。

*参加人数によって費用が多少変わります。

*参加ご希望の方は四月十五日迄に申込下さい。



編集後記

昨年はあちこちで戦後七〇年という言葉が使われられていました。私も小学校二年で学童疎開で信州の浅間温泉に行き、その後伊那のお寺に移り。四年で終戦になり、東京は焼け野原なので、直ぐには帰れないとかで、五年になって下馬に帰ってきました。三宿に陸軍の練兵場があったので、空爆の標的になり、我が母校附属小学校も焼けていました。疎開中は勉強どころではなく、伊那のお寺では、野菜運びや裏の山からの薪運びの日々でした。三年の時に栄養失調から黄疸になり、一時下馬の自宅に帰った時にB29の爆撃で校舎が燃えるのを防空壕の中から眺めていた記憶があります。

終戦後の食糧難はひどいもので、さつま芋の苗を取った後の種いもを食べたり、小麦粉を作る時に出土カス(フスマ)をパンにしたり、道端のハコベ等も食べていました。中央林間の方にヤミ米を買いに行ったり、所沢の方に芋を買いに行ったりもしました。今ではホームレスでもコンビニ弁当を食べている時代ですから…。飽食の時代など来るとは考えなくてもいませんでした。(傘寿の爺より)

「ひまわり通信」79号

2016年2月12日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住 所 世田谷区野沢3-4-18-102

〒 03-3487-5081

TEL 03-3422-9281

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会
世田谷区砵6-26-21(定価100円)